

令和2年 気仙沼市成人式

日時：令和2年1月12日（日）

午前10時30分～記念行事

「映像で見る“私たちの20年”」

午前11時00分～式典

※終了後、記念撮影を行います。

会場：気仙沼市民会館 大ホール



公民館だより

発行 大島公民館
住所 廻館110
電話 28-2614

「あなたが選ぶ気仙沼市の 五大ニュース」募集！



平成31年・令和元年をふり返って、気仙沼市の五大ニュースをご応募下さい。

応募用紙と投票箱は、公民館・中学校・開発総合センター・大島郵便局（新規）の4ヶ所に設置します。

☆募集期間：令和2年1月10日（金）～1月22日（水）

※なお、5大ニュース全5項目に的中された方の中から、
抽選で豪華記念品を贈呈します。ふるってご応募下さい。
お待ちしております！

☆応募資格：中学生以上の気仙沼市民、
または市内に通勤・通学の方。
☆応募は1人1票です。



1月の行事予定

6日（月）仕事始め

6日（月）民協月例会 13：30～研修室

6日・20日・27日（月）

「フロッカー練習会」9：00～ホール

8日・15日・22日（水）太極拳同好会

13：00～ホール

12日（日）令和2年気仙沼市成人式

10：30～気仙沼市民会館

18日（土）令和2年大島地区新年交歓会

11：30～旅館「明海荘」

29日（水）移動図書館「おおぞら号」

11：00～12：00

13：00～13：30 駐車場

大島地区 新年交歓会

日時：1月18日（土）

午前11時30分～

場所：旅館「明海荘」

主催：大島地区振興協議会・大島地区行政委員会
大島地区自治会連絡協議会

※参加の申し込みは会費（3,000円）を添えて
1月13日までに地区の 自治会長さんへ

「フロッカー練習会」行っています！

「フロッカー」とは屋内で行う「カーリング」のような
スポーツです。月曜日は公民館で、金曜日は開発センター
で、時間は午前9時～11時です。冬季の運動不足解消と
仲間との親睦に、お気軽にどうぞ！

※60歳以上の方なら誰でも参加できます。

※上靴をご持参し、動きやすい服装でおいで下さい。

主催：大島地区老人クラブ連合会

.....【大島地区の人口と世帯数（令和元年11月末現在）】.....

●世帯数 1,021世帯（10月末比±0） ●人口合計 2,394人（10月末比-5）

●人口（男）1,160人（10月末比-6） ●（女）1,234人（10月末比+1）

気仙沼市高齢者年忘れ演芸大会

「レクダンスの会ポピーズ」が出演しました

「第45回気仙沼市高齢者年忘れ演芸大会」が、12月8日に気仙沼市民会館にて行われました。

大島からは「レクダンスの会ポピーズ」の皆さんが出演しました。演目は公民館まつりでも披露した「白雲の城」で、息の合った踊りに会場から盛大な拍手が送られていました。



崎浜・くぐなり保育所合同

「親子陶芸教室」開催

12月3日(火)午前9時半から大島公民館で、崎浜・くぐなり保育所合同の「親子陶芸教室」を行いました。年長児童親子による「修了記念作品制作」も兼ねて毎年実施しています。講師の鈴木巖先生のご指導のもと、保護者と子ども達が協力して、思い思いにすてきな作品をつくりあげました。焼き上がりが楽しみです。



祝・大島大橋開通記念 合同企画

大島公民館・鹿折公民館共催講座を開催しました!

大島大橋開通記念として、また鹿折と大島の交流拡大を図るため、今回2つの公民館共催で合同講座を開催しました。12月には「はんどめいど講座」として2つの講座、「簡単くつきんぐ」として男性を対象とした料理講座を行いました。

「簡単くつきんぐ～男性お任せ編」

12月14日に鹿折公民館にて開催。鹿折公民館より6名、大島公民館より4名が参加しました。

当日のメニューは「さんまハンバーグ」「えびしんじょうのすまし汁」「アボガドサラダ」「焼きおにぎり」で、3班に分かれて作業を行いました。簡単な調理で、本格的な



出来栄に皆さん満足で、試食タイムにはなごやかな雰囲気地域を越えて交流を深めていたようでした。

「はんどめいど講座」 ポーセラーツ・ハーバリウム

ポーセラーツ講座を12月10日に大島公民館にて開催。鹿折公民館より6名、大島公民館より10名が参加しました。

ハーバリウム講座は12月19日に大島公民館にて開催。鹿折公民館より7名、大島公民館より7名参加しました。



●今回初めて開催した「合同企画」でしたが、どの講座も参加された方々には好評でした。今後も継続していきたいと考えております。

公民館は1月5日までお休しています。6日から通常業務です。



大島公民館長
小野寺 正司

今年も公民館事業にご協力をお願いいたします。

さて、今年の干支「子」ねずみの名前の由来としては、野ねずみが植物の根の下に穴を掘り棲む「根棲み」から来ているとされているようです。また、ねずみ算という言葉の通り、子どもをたくさん産むことから、子孫繁栄の象徴とされています。さらに、大黒天の使い・福の神として白いねずみが伝えられています。裕福だという富の象徴とされることによりです。

謹賀新年